

■表1 rt-PA 静注療法のチェックリスト

		あり	なし	
適応外 (禁忌)	<ul style="list-style-type: none"> ● 発症～治療開始時刻 4.5 時間超 ※ 発症時刻 (最終未発症確認時刻) _____ ※ 治療開始 (予定) 時刻 _____ 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	既往歴	<ul style="list-style-type: none"> ● 非外傷性頭蓋内出血 ● 1 か月以内の脳梗塞 (TIA を含まない) ● 3 か月以内の重篤な頭部脊髄の外傷あるいは手術 ● 21 日以内の消化管あるいは尿路出血 ● 14 日以内の大手術あるいは頭部以外の重篤な外傷 ● 治療薬の過敏症 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	臨床所見	<ul style="list-style-type: none"> ● くも膜下出血 (疑) ● 急性大動脈解離の合併 ● 出血の合併 (頭蓋内, 消化管, 尿路, 後腹膜, 喀血) ● 収縮期血圧 (降圧療法後も 185 mm Hg 以上) ● 拡張期血圧 (降圧療法後も 110 mm Hg 以上) ● 重篤な肝障害 ● 急性膵炎 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	血液所見	<ul style="list-style-type: none"> ● 血糖異常 (<50 mg / dL, または >400 mg / dL) ● 血小板 100,000 / ml 以下 【抗凝固療法中ないし凝固異常症において】 ● PT-INR >1.7 ● APTT の延長 (前値の 1.5 倍 [目安として約 40 秒] を超える) 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	CT/MR 所見	<ul style="list-style-type: none"> ● 広汎な早期虚血性変化 ● 圧排所見 (正中構造偏位) 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
慎重投与 (適応の可否を慎重に検討する)	年齢 既往歴	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>81 歳以上</u> ● 10 日以内の生検・外傷 ● 10 日以内の分娩・流早産 ● 1 か月以上経過した脳梗塞 (とくに糖尿病合併例) ● 3 か月以内の心筋梗塞 ● 蛋白製剤アレルギー 	あり <input type="checkbox"/>	なし <input type="checkbox"/>
	神経症候	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>NIHSS スコア 26 以上</u> ● 軽症 ● 症候の急速な軽症化 ● 痙攣 (既往歴などからてんかんの可能性が高ければ適応外) 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	臨床所見	<ul style="list-style-type: none"> ● 脳動脈瘤・頭蓋内腫瘍・脳動脈静脈奇形・もやもや病 ● 胸部大動脈瘤 ● 消化管潰瘍・憩室炎, 大腸炎 ● 活動性結核 ● 糖尿病性出血性網膜症・出血性眼症 ● 血栓溶解薬・抗血栓薬投与中 (とくに経口抗凝固薬投与中)* ● 月経期間中 ● 重篤な腎障害 ● コントロール不良の糖尿病 ● 感染性心内膜炎 	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(注意事項) ① 1項目でも「適応外」に該当すれば実施しない。② 1項目でも「慎重投与」に該当すれば、適応の可否を慎重に検討し、治療を実施する場合は患者本人・家族に正確に説明し同意を得る必要がある。③「慎重投与」のうち、下線をつけた4項目に該当する患者に対して発症3時間以降に投与する場合は、個々の症例ごとに適応の可否を慎重に検討する必要がある。

* : 抗 Xa 薬やダビガトランの服薬患者への本治療の有効性と安全性は確立しておらず、治療の適否を慎重に判断せねばならない。

(日本脳卒中学会医療向上・社会保険委員会 rt-PA (アルテプラゼ) 静注療法指針改訂部会, rt-PA (アルテプラゼ) 静注療法適正治療指針, 第二版, 2012 年 10 月, <http://www.jsts.gr.jp/img/n-PA02.pdf> より)